

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	018508	事務事業名	選挙管理事務費			
担当部・課名	選挙管理委員会事務局	評価者(課長)	武居 伸一	評価責任者(部長)	原田 伸明	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900204	分野	9行政経営	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	2将来を見据えた行政経営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)その他			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民	事業の目的(意図)	選挙環境の向上
事業の内容(手段)	定例選挙管理委員会の開催、永久選挙人名簿・在外選挙人名簿・海区漁業調整委員会委員選挙人名簿の調製、縦覧及び閲覧事務、滞在地及び船員の不在者投票事務、検察審査員候補者及び裁判員候補者予定者の選定など		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	実績値	達成度(%)
定例選挙管理委員会開催数		毎月定例の選挙管理委員会を開催し、適正な選挙の執行管理等を行うものである。	回	目標値	12.0	12.0	12.0
				実績値	12.0	12.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	3,085	2,389	2,412	2,282
うち一財		千円	3,052	2,356	2,379	2,273	2,273
(決算額)	直接事業費	千円	2,842	2,337		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	2,818	2,316			
	正職員人件費	千円	3,517	4,052			
	人工数	人	0.48	0.55			
	支出コスト	千円	決) 6,359	決) 6,389			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	公職選挙法等の改正が、頻繁に行われている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	法令に基づき適正に処理していく。		評価責任者コメント	法令により市が処理することとされている。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
特記事項なし	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	選挙管理事務	公正な選挙の管理執行及び投票環境の向上	定例選挙管理委員会の開催、各種選挙人名簿の調製、縦覧及び閲覧事務、滞在地及び船員の不在者投票事務等	2,257 否	0.52	0.00	
②	全国市区選挙管理委員会連合会負担金	公正な選挙の管理執行及び投票環境の向上	市区選挙管理委員会業務の円滑な運営、選挙の管理執行等における改善研究及び関係法令の改正要望実現のための全国組織への負担金	45 否	0.01	0.00	
③	全国市区選挙管理委員会連合会中国支部負担金	公正な選挙の管理執行及び投票環境の向上	全国市区選挙管理委員会連合会の下部組織である中国支部への負担金	12 否	0.01	0.00	
④	山口県都市選挙管理委員会連合会負担金	公正な選挙の管理執行及び投票環境の向上	全国市区選挙管理委員会連合会の下部組織である県組織への負担金	23 否	0.01	0.00	
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	018511	事務事業名	選挙常時啓発事業費			
担当部・課名	選挙管理委員会事務局	評価者(課長)	武居 伸一	評価責任者(部長)	原田 伸明	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900204	分野	9行政経営	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2将来を見据えた行政経営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)その他			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民	事業の目的(意図)	投票率の向上
事業の内容(手段)	新たに有権者となる18歳、児童生徒等への啓発、明るい選挙推進協議会の開催等		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	明るい選挙推進協議会開催数	明るい選挙推進協議会の総会、役員会の開催	回	目標値	3.0	3.0	3.0
				実績値	3.0	3.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	200	265	196	239	239
	(予算額) うち一財	千円	200	265	196	239	239
	直接事業費	千円	190	235		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	190	235			
	正職員人件費	千円	1,319	9,578			
	人工数	人	0.18	1.30			
支出コスト	千円	決) 1,509	決) 9,813				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成25年度限りに、青年法政大学周南会場を廃止した。平成28年6月、選挙権年齢の18歳引下げが実施された。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 新たに有権者となる18歳、高校生を中心に出席授業を行っている。今後も、投票率の低い若年層を対象とする啓発が課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	投票率の低い若年層に重点を置き、出席授業を中心とする啓発を継続して行っていく。	評価責任者コメント	若年層をはじめ各世代における投票率の低下傾向は、近年、全国的にも続く傾向にある。また、毎年新たな有権者が生まれている。このため、常時啓発の手法を改善しながら、継続していく必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
新たに有権者となる高校生や投票率の低い若年層に対する啓発を重点的に行っていく。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	常時啓発事業	投票率の向上	高校生等を対象にする出席授業、児童生徒会選挙に投票箱や記載台の貸出し応援など	235	1.30	0.00	
				否			
②							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	衆議院議員選挙事務費			
担当部・課名	選挙管理委員会事務局	評価者(課長)	武居 伸一	評価責任者(部長)	原田 伸明	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900204	分野	9行政経営	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	2将来を見据えた行政経営			補助・単独の別	補助
	推進施策	(4)その他			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民	事業の目的(意図)	公正な選挙
事業の内容(手段)	解散に伴う衆議院議員総選挙の管理執行(投票日 平成29年10月22日)		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					選挙執行回数	衆議院議員総選挙の公正な執行回数	回
				実績値	—	1.0	
				達成度(%)	—	100.0%	

事業費	項目		単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	—	—	—	—	—
うち一財		千円	—	—	—	—	—	—
直接事業費		千円	—	57,997		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
うち一財		千円	—	0				
正職員人件費		千円	—	11,052				
人工数		人	—	1.50	0.00			
	支出コスト	千円	—	決) 69,049				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移		課題・問題点	□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性
	評価	D	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性		評価責任者コメント	法令により市が実施することとされている。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
特記事項なし	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	衆議院議員選挙事務	衆議院議員総選挙の公正な管理執行	衆議院議員総選挙の公正な管理執行	57,997	1.50	1.20	
				否			
②							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	018520	事務事業名	県知事選挙事務費			
担当部・課名	選挙管理委員会事務局	評価者(課長)	武居 伸一	評価責任者(部長)	原田 伸明	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900204	分野	9行政経営	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	2将来を見据えた行政経営			補助・単独の別	補助
	推進施策	(4)その他			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民	事業の目的(意図)	公正な選挙
事業の内容(手段)	任期満了に伴う山口県知事選挙の管理執行(任期満了日 平成30年2月22日、投票日 平成30年2月4日)		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					選挙執行回数	山口県知事選挙の公正な執行回数	回
				実績値	—	1.0	
				達成度(%)	—	100.0%	

事業費	項目		単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	—	68,000	—	—	—
うち一財		千円	—	0	—	—	—	—
(決算額)	直接事業費	千円	—	56,594		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
	うち一財	千円	—	149				
	正職員人件費	千円	—	11,420				
	人工数	人	—	1.55	0.00			
	支出コスト	千円	—	決) 68,014				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性
	評価	D	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性		評価責任者コメント	法令により市が実施することとされている。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
特記事項なし	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	県知事選挙事務	山口県知事選挙の公正な管理執行	山口県知事選挙の公正な管理執行	56,594	1.55	1.45	
				否			
②							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	018529	事務事業名	土地改良区総代選挙事務費		
担当部・課名	選挙管理委員会事務局	評価者(課長)	武居 伸一	評価責任者(部長)	原田 伸明

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900204	分野	9行政経営	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	2将来を見据えた行政経営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)その他			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民	事業の目的(意図)	公正な選挙
事業の内容(手段)	任期満了に伴う鹿野土地改良区総代総選挙の管理執行(任期満了日 平成30年3月8日)		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					選挙執行回数	土地改良区総代総選挙の公正な執行回数	回
				実績値	1.0	1.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	88	88	114	0
うち一財		千円	0	0	0	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	20	26		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	0	0			
	正職員人件費	千円	1,099	737			
	人工数	人	0.15	0.10			
	支出コスト	千円	決) 1,119	決) 763			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性		評価責任者コメント	法令により市が実施することとされている。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
土地改良法の改正により、選挙管理委員会の事務から外れたものである。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	土地改良区総代選挙事務	鹿野土地改良区総代総選挙の公正な管理執行	鹿野土地改良区総代総選挙の公正な管理執行	26	0.10	0.00	
				否			
②							